事例No.	1912
公表年度	R4
団体の属性	複数団体
団体名	奈良県、五條市、吉野町、大淀町、下市町、黒滝村、天川村、野迫川村、十津川村、下北山村、上北山村、川上村、東吉野村

事例区分	公営企業

タグ	・病院事業 ・組織改革 ・人材確保・育成

事例種類	広域化等

事例内容・タイトル

県立病院と町立病院の再編

出典

公営企業の持続可能な経営の確保に向けた先進・優良事例集

【奈良県南和広域医療企業団】
県立病院と町立病院の再編

広域化等 | **病院事業**

奈良県南和広域医療企業団事務局経営管理課

● 取組概要

広範囲の医療需要に対応した切れ目のない医療提供体制を構築するため、公立病院を機能分化・連携強化し、再編した。

◆総事業費　建設費等 196.5億円

◆背景

- 南和保健医療圏は、広大な山間部を有しており、大半が過疎地域で高齢化率が著しく高く医療需要も多い地域である。
- 地域内には、急性期を担う3つの公立病院（県立五條病院、吉野町国民健康保険吉野病院及び大淀町立大淀病院）があったが、人口減少による患者数の減少、医師・看護師数の減少等により、医療機能の維持が困難となっていた。

◆具体的内容

- 南和保健医療圏に係る県及び12市町村で一部事務組合を設立し、新たな医療提供体制を構築した。3つの公立病院を急性期・回復期を担う1つの病院（南奈良総合医療センター）と回復期・慢性期を担う2つの療養期病院（吉野病院及び五條病院）に再編した。
- 南奈良総合医療センターから、不採算地区病院である吉野・五條病院への応援、へき地診療所への医師・看護師・専門職の派遣を行い、地域内の医療機能を強化した。
- へき地診療所と電子カルテシステム情報の共有を行うことで、救急医療時の患者情報の把握等、最適な医療につなげた。

◆効果

- 医師数や救急搬送受入件数が増加するなど医療機能が向上した。
  - 医師数　平成27年度：45人→令和3年度：63人
  - 救急搬送受入件数　平成27年度：2,081人→令和3年度：3,443人

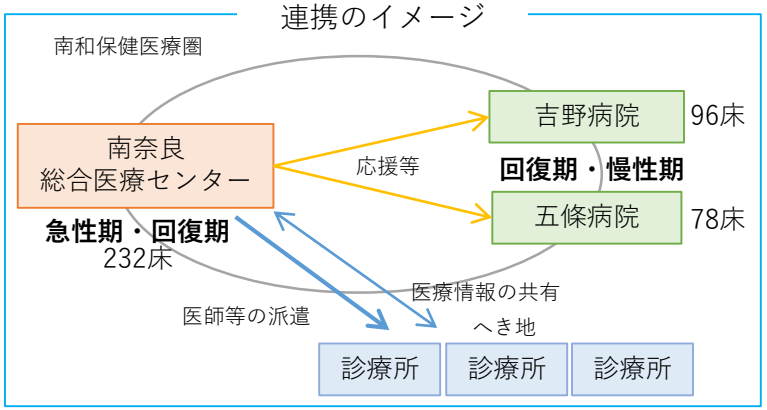
● 取組のポイント

- 病院開設団体だけでなく地域の医療は地域の自治体が共同して守るという基本的な考え方に賛同を得て、医療圏全市町村で一部事務組合を設立した。
- 役割の重複していた3病院を、急性期と慢性期の病院に機能分化することにより、将来にわたり安定した医療機能を維持することを目的としている。
- 財源には、地域医療臨時特例交付金等の国庫支出金、病院事業債、過疎対策事業債等を活用した。

● 公営企業情報

- 行政区域内人口　63,008人（令和4年1月1日時点）
- 行政区域内面積　2346.92km^2（令和4年1月1日時点）
- 許可病床　418床（令和3年度決算）

連携のイメージ



● 取組のスケジュール

- 平成23年11月　新南和公立病院体制基本構想・基本計画を策定
- 平成24年1月　一部事務組合（南和広域医療組合）を設立
- 平成28年4月　地方公営企業法の全部適用に伴い、南和広域医療企業団へ移行

● 今後の展望

- 医療圏内での医療需要充足割合を高めるため、南奈良総合医療センターにおけるがん、脳卒中などの専門診療の充実を図る。
- 企業団3病院の病床の一体的かつ効率的運用など一体的運営の強化を図る。